

『11月8日、ふと思う』

株式会社オカダヤ ルミネ立川店

山本 智恵子

この季節が一番好きだ。人の中にある「誰かの為」にが、一番見える季節。

そのお客様は、商品を眺めていた。小柄で色白の可愛らしい女性。水色の下着を手にとっては戻し、アイボリーに手を伸ばそうとしては止めて、今度はブラックの前で立ち止まる。そしてまた水色へ…「綺麗な色ですよ、色でお悩みですか」とお声掛けすると、少し驚きながら、「新しい色も欲しいなって。でもこのブルー、可愛いですよね。」お話を伺うと、お客様はいつも自分で選ぶ下着の色が、水色かパープルになってしまいがち。そろそろ違う色のものを身につけたいとのこと。私は、お客様の華奢で柔らかい雰囲気と、その可愛らしさが引き立ちそうなシェルピンクのレース地にブルーとゴールドのラメ糸の刺繍があしらわれた下着をご紹介します。「わあ。ピンクは、初めて！でも、着けてみてもいいですか」「もちろんです。ご試着頂きましたら、サイズチェックやストラップの調整をしますので、是非お呼び下さい。ごゆっくりどうぞ。」

そう声をかけて待っていると、しばらくしてから私を呼ぶ試着室のベルの音が鳴り、中に入るとシェルピンクの下着に、チャレンジして下さったお客様が少し恥ずかしそうにしていた。

「思った通り！お客様、心の底からお似合いです。かわいいっ！」

思わず、私の顔もほころび、お客様も笑顔になった。「あの、他にもお姉さんのおすすめありますか」お色を選ばせて頂けたので、お客様に似合いそうとジューシーなオレンジ色、清楚で上品なレースのネイビーをご紹介します。

「実は今度、彼と旅行に行くんです。それで今日は来ました。」

打ち明けて下さったお客様と、試着室での女子トークに花が咲く。大好きな彼と、やっと仕事の休みが合うので、1泊2日紅葉を観に栃木に行く為に下着やお洋服まで選ぼうと、当店に立ち寄って頂けたのだ。

「この3つ全部下さい」お客様の言葉に、私は驚きながら「でも、旅行は1泊2日でしたよね」と聞き返すと「全部初めての色だったんです。でも、全部気に入っちゃって。一緒に選んでくれて有難うございます。旅行も、その後もこの下着を着るのが楽しみにになりました。またお姉さんに選んでほしいです」。

笑顔で言う、そのお客様の言葉が本当に嬉しかった。この仕事が楽しいと思える瞬間だった。大切な彼の為に、悩んだり喜んだり、そういうお客様が素敵で、初めて会った私にまで気持ちを言葉にして伝えられて、だからきっと彼は彼女のことが好きなのだと思った。

高齢のお母さんの為に、不自由な手でも一人で脱ぎ着がしやすいパジャマをプレゼントに探していたお嫁さん。

12月に遠方から孫が遊びに来るから、プレゼントを買いたいと、普段は買い物をしない、ショッピングビルの地図を見ながら訪ねていらしたおばあちゃん。

遠距離恋愛の彼と少し早いクリスマスで会いに行く為に、赤い下着をドキドキしながら買いにきた彼女。

猫が大好きな彼女の為に、少し戸惑いながらネット検索で、猫柄のパジャマとルームシューズを選びに来て下さった大人の彼。

一人暮らしを始めた娘に、温かいルームウェアと肌着を送ってあげたいというお母さん。

思い返すと様々な「誰かの為」に、お客様と時間を共にしてきた。初めて会う人同士が、一緒に選んで、その相手を思い考えて。自分もまた、そんなお客様に影響されて、自分の大切な人に思いを巡らせて。

自分の大好きな人達に会いたくなる、この季節が好きだ。

そう思わせてくれる人と、日々出会える、この仕事が好きだ。